

## 別記様式（第3条関係）

## 開催記録

名 称	町民懇談会
開催日時	平成 25 年 6 月 1 日 14 時 00 分から 15 時 30 分まで
開催場所	本郷公民館
出席者	<p>【役場】 副町長、野中生涯学習課長、佐々木まちづくり政策課長補佐、 渡部係長、中村主査</p> <p>【町民】4名</p>
議 題	<p>○公共施設整備検討について</p> <p>○第3次総合計画に向けたまちづくりについて</p>
資料の名称	<p>○公共施設整備検討に関する庁内検討報告</p> <p>○第2次総合計画ダイジェスト版</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
内容	
<p>《公共施設整備検討についての質疑》</p> <p>Q この資料は、いつ誰が作成したのか？表紙に書いておいてほしい。</p> <p>A ご意見として承る。</p> <p>Q 庁舎に収容できないとあるが、人員を削減したらどうか？</p> <p>A 想定人員が180人、事務室スペースについて一人あたり7.5㎡必要だと計算している。</p> <p>Q 法律できまっているのか？</p> <p>A 決まってははいない。基準として計算している。試算としては、1,342㎡の事務スペースが必要であり、新鶴と本郷の事務スペースが1,000㎡、300㎡ほど足りない。</p> <p>Q 事務スペースを窮屈にすればいいのではないか？</p> <p>A ご意見として承る。</p> <p>Q なぜ高田庁舎に限定した議論なのか？高田ばかり良くしてはならない。</p> <p>A 耐震性能が足りないため議論している。ご理解願いたい。</p>	

Q 新たな庁舎を建設しないのが約束だったのではないか。今あるものを最大限に利用するのではないのか。そういう前提条件のもと議論すべき。

A 合併当時はそういう考え方があり、高田庁舎を建てる考えはなかった。耐震上危険な建物であることが分かり、建設の議論をしている。

Q 選択肢が少ない。本郷・新鶴を総合庁舎とする考え方があってもいいのではないか。そういう議論もしてほしい。懇談会の前から資料を示して開催人員を集めてほしい。

A ご意見として承る。

Q 民間のように B/S（貸借対照表）、P/L（損益計算書）で考えなければならないのではないか？そういう考え方はないのか？

A 当然そういった計算もする。わかりやすい予算書をご家庭にお配りしている。

Q なぜ今回の資料にはそのような数字がないのか？減価償却は？キャッシュフローとしてしか示されていない。

A 貴重なご意見として承る。

Q 人口比でいったら高田の人が多から、総合庁舎を高田につくれという話になるのではないか？

A 今日までの懇談会の中で、そういう意見ばかりでもなかった。いろいろな話を聞いて検討していきたい。

Q こういった議論において、新鶴・本郷の意見を聞くのが大切である。

A いろいろな方面から考えていきたい。

Q 懇談会について出席者の数も公開し、もっと集まるようにしなくてはならない。

A ご意見として承る。そういった数字も公開することを予定している。

Q 二本柳公園を壊すと、代替施設をつくらなくてはならないのか？

A 利用頻度が高く要望も多い。

Q 現在のものを中心に考えるといい案が出てこない。建物を中心とするのではなく、町全体のことを考えて検討していくことが必要。場所について、少なくとも自家用車が無くてもいけるようにしなくてはいけない。外出することが少なくなると、交流が少なくなる。楽しく暮らせる町にしてほしい。

A ご意見として承る。

### 《第3次総合計画策定に向けたまちづくりについての質疑》

Q 2011年の作成か？載っていない。流入人口を増やす施策はないのか？減るばかりでだめだ。

A 日本全国人口が減る状況である、課題であるのでそういった施策も重要であることを認識している。検討していきたい。